

健康でより豊かな食生活に貢献

証券コード 2612



角 かとや 製油株式会社
2013年3月期 決算説明会

経営展望について
2013年5月30日(木)
代表取締役社長 小澤二郎



東京証券取引所への上場

平成25年4月2日、当社は
東京証券取引所 市場第一部へ上場致しました。
関係各位のご理解、ご支援に厚く感謝申し上げます。

今後も、

「お客様に常に感謝の心を持ち、

安心・安全かつ価値あるごま製品を提供することで、

健康でより豊かな食生活の実現に貢献する」

という経営理念のもと、

企業価値の向上に努めてまいります。



経営展望について

(1)販売

(2)売上拡大策

(3)原料

(4)経営展望



(1)販売



販売①(総括、ごま油)

2013年3月期
総括

2013年3月期は、生レバー提供禁止や領土問題による観光地外食産業不調の影響が厳しかったが、売上高・利益の低下食い止めに努めた。

ごま油	家庭用	業務用	輸出用
2013年 3月期 実績	エリア市場にあった店頭売価設定等の施策により、NB品の販売量は増加、一方、PB品はNB品の店頭売価下落の影響を受け微減した。	需要家向け販売構成比増による単価下落で、販売金額は微減した。	現地需要家向け販売を強化した。 現地直接商談頻度を増やし、既存客先も順調に伸長した。
2012年 3月期比	販売金額、数量 共に前年並み	販売金額 微減 数量 微増	販売金額 数量 共に増加
2014年 3月期 計画	為替円安に加え、原料価格高騰によるコスト増の吸収が課題 ①店頭販売単価の適正化に注力、用途提案による購買促進強化 ②エリア対策の強化 シェア拡大地区選定、販売促進強化	家庭用同様適正価格による販売が課題 ①大口需要家との新規取引強化 ②惣菜市場開拓 ③コラボ商品等の開発提案強化	数量4%の伸長を目指す ①北米既存ビジネス伸長 ②新規PB商品開発 ③新規加工ユーザーを取り込む



販売②(食品ごま)

食品ごま	家庭用	業務用
2013年3月期 実績	重点拡販製品として位置付け、販売店契約を実施。 NB品は、新規導入効果もあり数量、金額共に約20%伸長した。	外食向け小袋の新規を獲得による数量増があったが、需要家の中には、主原料価格高騰の影響を受け、副材料であるごまの使用量の見直しを実施した客先が増えた。
2012年3月期比	販売金額、数量共に増加	販売金額、数量共に微減
2014年3月期 計画	他の食材やごま油と合わせた店頭販促企画やメニュー提案を強化する 需要期に主要取引先において集中拡販を強化する	大口顧客へ重点拡販キャンペーンを実施する 加工メーカーおよび米菓市場を開拓する 大口PB製品を獲得する 特に利幅の良いねりごまの製品ラインナップを強化し、市場拡大する



販売③(輸出用ごま油)

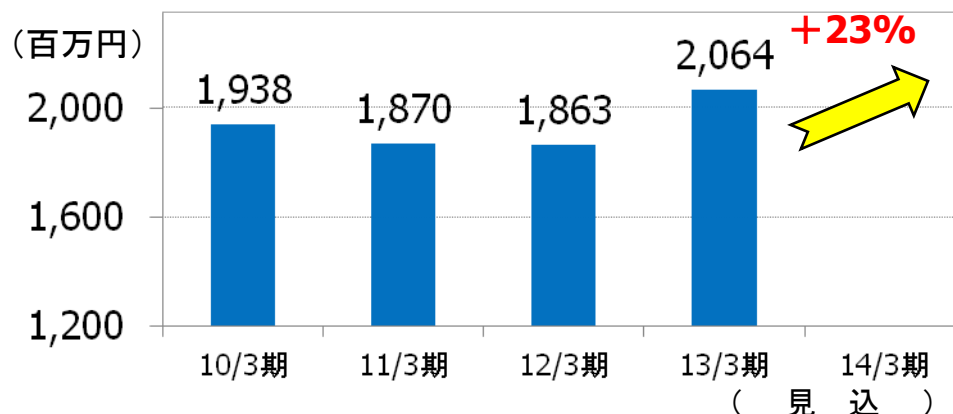
販売実績

2013年3月期販売数量 約4,050t

北米への輸出が堅調であり、欧州向け出荷も軌道に乗り始めた。

また、香港やオセアニア等での新規案件獲得などもあり、前期比約7%の販売数量増となった。

輸出用ごま油 販売金額推移



輸出分野での施策

① 既存顧客への拡販

- ・北米ではアジア系人口が増加を続けており、必要に応じた販促により需要を取込む
- ・北米以外のエリア(特にヨーロッパ)での営業活動を強化する

② 新規顧客の獲得

- ・新規案件(PB商品等)を獲得し、新たな販路を拡大する
- ・コーシャ認証(※)取得により、新規需要及び加工ユーザーを掘り起こす
- ・今期は欧州及び中東での展示会出展を計画。

(※「コーシャ認証」・・・ユダヤ教の戒律に基づく、食品に関する認証制度。)



(2)売上拡大策

売上 拡大策①

＜大手料理学校との連携＞（ABC クッキングスタジオ、東日本料理学校協会）

- ①商品のPR、サンプル提供で認知度向上を図る。
- ②ごま油に関するアンケート実施し、商品開発、改善に繋げる。

＜大学食堂でのPR活動＞（将来のユーザー囲い込みを企図して）

学生食堂卓上に「純正ごま油」を啓蒙ツールと一緒に設置。
同時に学食で「純正ごま油」使用メニューを提供！

※今期は慶応大学、明治大学、日本体育大学の3校で実施。



＜最大のレシピ検索サイト「COOKPAD」との連携＞

「スポンサードキッチン」ページにて、純正ごま油、ねりごまなどを
使用した自社レシピを紹介し、新レシピ提案、商品啓蒙を図る。
同時に、ユーザーが当社レシピを参照し、調理した感想を料理画像
と共に同ページにアップ。商品認知度の向上を図る。



＜広告＞・・・純正ごま油・食品ごま・ねりごま広告

- ①雑誌・WEBでは、当社「純正ごま油」と他社「調合ごま油」との差異・特徴を訴求
- ②すり鉢仕立て風すりごま、純正黒ごま油など認知度の低い商品をレシピと共に訴求

<店頭PR>

① キャスト活動

店頭での消費者へのアピールを強化するために、2010年7月より東京・名古屋・大阪の重点フォロー対象の量販店等でキャスト活動を開始。新しい売場獲得のため、什器を設置したり、店舗での陳列・販売状況をすぐさまフィードバックするなど、積極的・効果的な販促を実施していく。



② 小学校3・4年生を対象に食育授業を実施

都内近郊の小学校を中心に、ごま・ごま油についての「食育授業」を実施。

ごま・ごま油の歴史、栄養成分等の「ごま」の特長など実際の調理実習と共に展開。





コラボレーション商品

広告宣伝効果が大きく、当社ブランドの醸成にとって重要なラインナップ。

<カルビー(株)>

「ポテトチップス しおとごま油風味」(2008年3月～2013年4月)

「ポテトチップス キムチとごま油風味」(2012年2月～6月)

2008年から期間・地域限定で販売をスタートしたポテトチップス。年々消費者より好評を得て、「しおとごま油風味」については定番商品として販売を展開。



<ジャパンフリトレ(株)>

「コーンチップス かどや 韓国のり味」(2012年2月～2012年5月)

「コーンスナック かどや 香ばしら一油味」(2012年2月～2012年5月)

風味豊かなごま油・ら一油をそのまま使用したコーンのお菓子。

(「コーンチップス かどや 韓国のり味」については、2013年度も期間限定発売予定。)



<株なとり>

「茎レタス さっぱり中華味」(2013年3月～)

茎レタスの資材を活かし、ごま油の香りと唐辛子がアクセント。さっぱりとした「中華風」の味付けで、歯ごたえのあるおつまみ。



<株栗山米菓>

「韓国のり味かきもち」(2012年12月～2013年3月) ※継続リニューアル発売

韓国のりをたっぷり練り込んだ生地をさっくりと焼き上げ、当社ごま油をブレンドした特製調味油で味つけしたかきもち。





売上拡大策②（通信販売限定商品）

＜かどやのごまセサミン＞（2010年7月販売開始）

ごま専門メーカーのかどやが作ったセサミン。
ごま油、食品ごまに続く当社の第三の柱としていく。

＜黒ごま&オリゴ＞（2009年7月販売開始）

ねりごまにオリゴ糖・はちみつ・黒砂糖の上品な甘味を加えた商品。



2013年3月期実績

前期同様、新聞広告、テレビCM(BS局)、インターネット広告を中心に販売施策を実施した。
既存顧客に対しても、サポート施策拡充等、顧客満足度の向上に努めた。

ごまセサミン・黒ごま&オリゴの合計販売金額：前期比約**150%**と伸長

2014年3月期施策

＜ごまセサミン 黒ごま&オリゴ 共通の施策＞

- ① 広告 インターネット広告の拡充など、広告媒体の最適化を図り、更なる商品認知度の向上と購入機会を創出する。
- ② サポート施策 お客様サービスの更なる拡充を図り、お客様満足度の向上に努める。快適にリピート購入して頂ける体制を整える。

＜ごまセサミン 具体策＞

- ① 新聞(全面)広告 ごま專業の当社が開発した「ごまセサミン」であることを前面に打ち出し展開する。
- ② テレビCM イメージキャラクターに女優・高畑淳子氏を起用し、「專業メーカーのこだわり」をアピールして商品認知度と購買意欲の向上を狙う。





(3)原料



原料の安定調達

現 状

- ① ごま種子の生産 — 全世界の生産量は横這い～微減。
2011/2012年度生産量：約374万トン(出典:Oil World)
生産国で天候異変・農薬問題等のリスクが発生しやすい
- ② ごま種子の需要 — 需要の強い中国並びに中東の動向が注視される。
世界的に需要の増加傾向が続くが、賄えない量ではない

調達方針

**商社の強力なチャンネルを活用し、
高品質の原料を安定的に調達**

- ① 優良な産地・現地の輸出業者との取り組みを強化すると同時に、
新たな調達先の選択肢を増やす
- ② 作付面積の変化や天候情報、収穫時期・収穫見込数量について、
迅速・的確な情報収集を行う



食の安心・安全について

背景

1. 食品自体の安全性に関する問題（例：異物混入）
2. 食品会社のモラル・コンプライアンスに関する問題（例：偽装）

当社の方針・施策

- ① 原材料から最終商品までのフローをマニュアル化
品質管理部門のスタッフの力量向上に注力して体制を強化
- ② 原料の残留農薬に対し、自社検査機能を備え、公的機関へも検査を依頼
- ③ 全従業員へのコンプライアンスの徹底

消費者の皆様に安心・安全なごま製品を提供できるよう、
常に向上を図ることで信頼を得て、売上拡大に繋げる

今期の重点施策

1. 食品衛生教育の充実（例：計画的な研修）
2. 残留農薬検査の強化（例：分析項目増加）

<食品表示について>

消費者庁では、食品の各種表示について見直しを進めていますが、現在、食用油脂における表示（原料原産地やトランス脂肪酸の含有量など）についての義務化は見送られています。



製品値上げについて

背景

- ごまは原料をほぼ100%輸入に依存するため、各社共値上げ対応する。
 1. アフリカ産原料が高騰（新興国の需要増）
 2. 円安

今春の値上げ

- 足元のアフリカ産の原料高騰分と円安に見合う分の値上げ

ごま油 : 5/1~、平均10%値上げ（家庭用、業務用）

食品ごま : 6/1~、10%値上げ

当社の方針

ごま油、食品ごまの付加価値を維持するために

必要な場合は値上げをさせていただきます。

- * その後、原料高・円安が一層進み、今春の値上げでは、コストアップ分をカバーしきれない。
- * 今後の為替及び収穫状況による原料価格の動向を加味すると秋の値上げは避けられない。



(4)経営展望



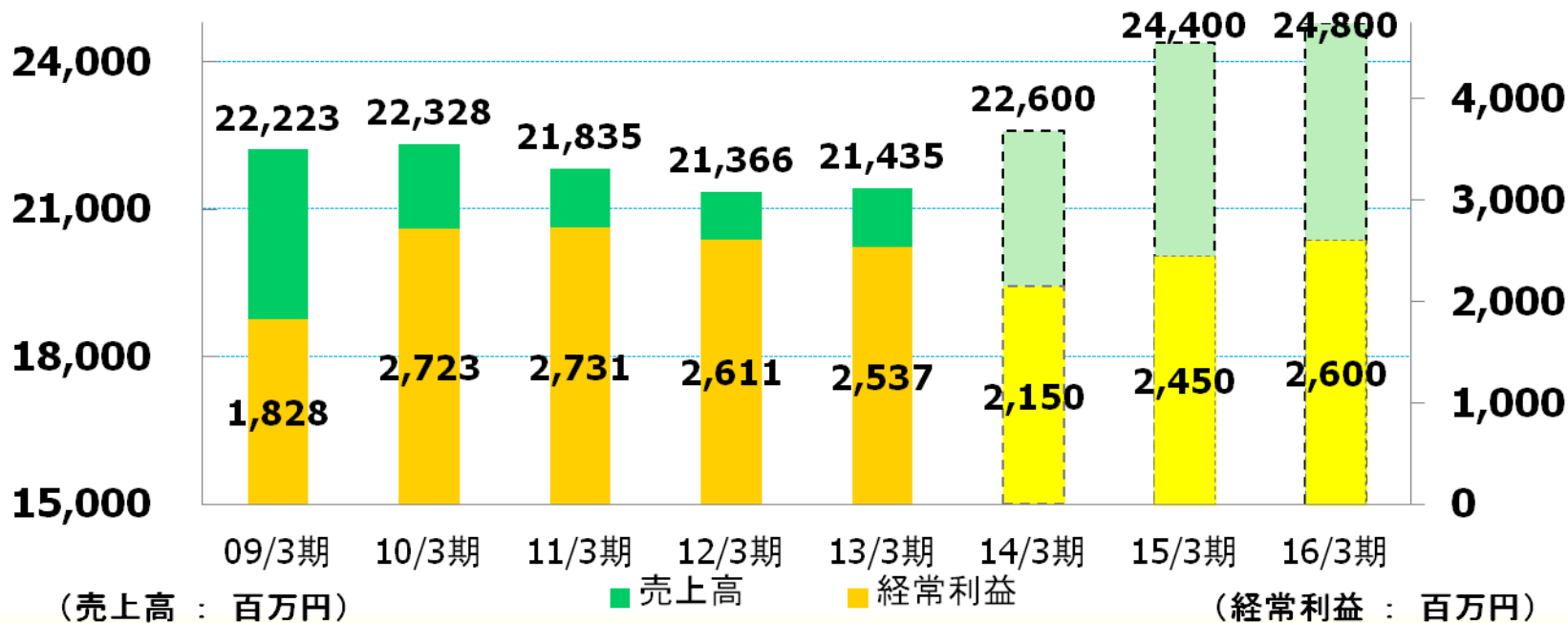
中期経営計画(前提、計画数値)

前提

- ① 為替：93円
- ② 原料価格：上昇傾向
- ③ 製品価格：ごま油(5/1~)、食品ごま(6/1~)共に値上げ

中期経営計画

(単位：百万円)	13/3期実績	14/3期	15/3期	16/3期
売上高	21,435	22,600	24,400	24,800
経常利益	2,537	2,150	2,450	2,600



販売策、計画販売数量

- ① 家庭用ごま油は、14/3期～16/3期は前期比漸増。
シェア拡大重点エリアを選定し、適正価格で積極的に販売する。
- ② 業務用ごま油は、14/3期以降は大口需要家との取引を強化すると同時に各業態に沿った用途提案を強化して新規ユーザーを開拓する。
- ③ 輸出用ごま油については、14/3期～16/3期は毎年＋約4.0%の割合で伸ばす。
- ④ 食品ごまについては、特に家庭用製品を重点販売製品と位置付け、集中販売により数量を増やす。業務用は、利幅の良いねりごまで市場拡大する。

今後の課題

- ① 原料供給ルートを多様化する（特に白ごま・黒ごま）
- ② 小豆島工場のリニューアル工事を行う



* 写真は、小豆島工場で平成24年1月に稼働した液化天然ガス(LNG)設備。

2007年3月期より、業績に連動させた配当に変更。
配当性向の目標は、当期純利益の40%を目処とする。
但し、業績に関わらず、
1株当たり20円以上の配当を継続して行えるよう努力。

2013年3月期の期末配当金は
1株当たり75円の予定。

普通配当 : 65円
一部上場記念配当 : 10円



※ご注意

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

かどや製油株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03-3492-5545 FAX 03-3492-5985

取締役執行役員管理部長 戸倉 章博

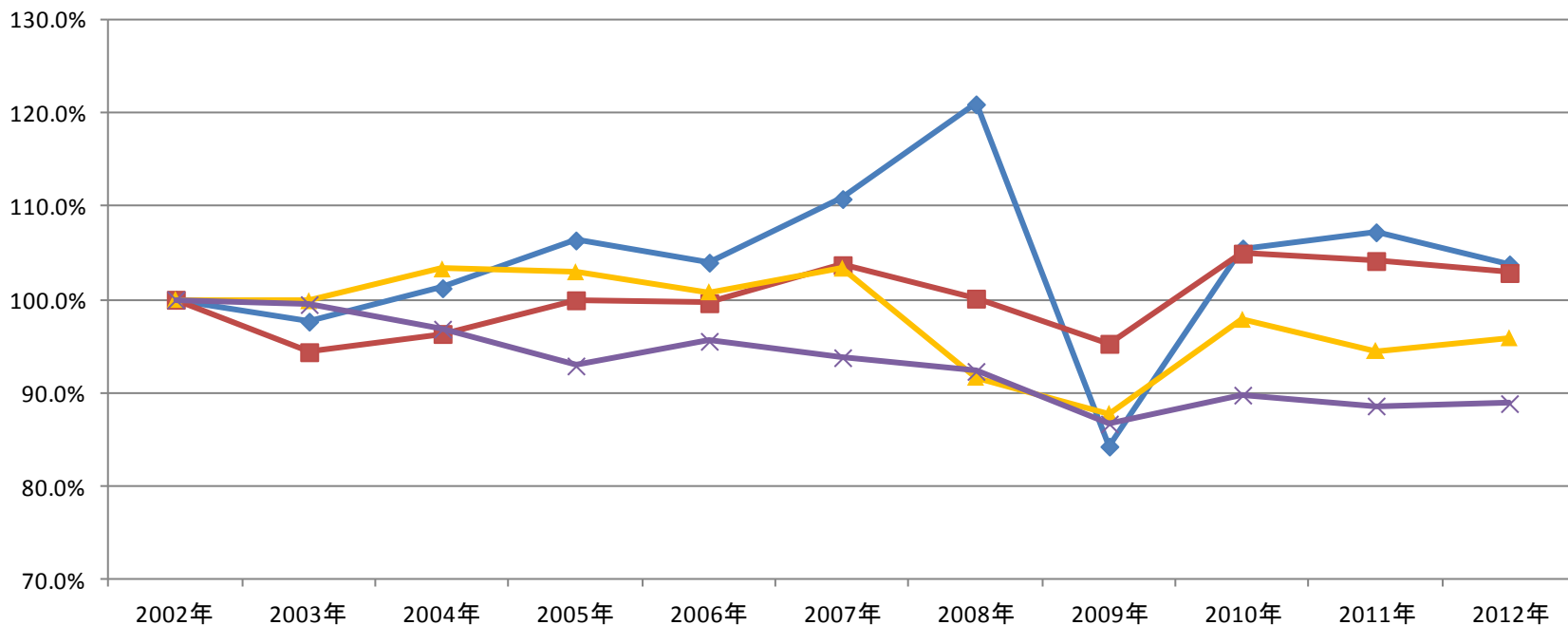
URL <http://www.kadoya.com/>



付 属 資 料



わが国のごま種子輸入量と搾油状況

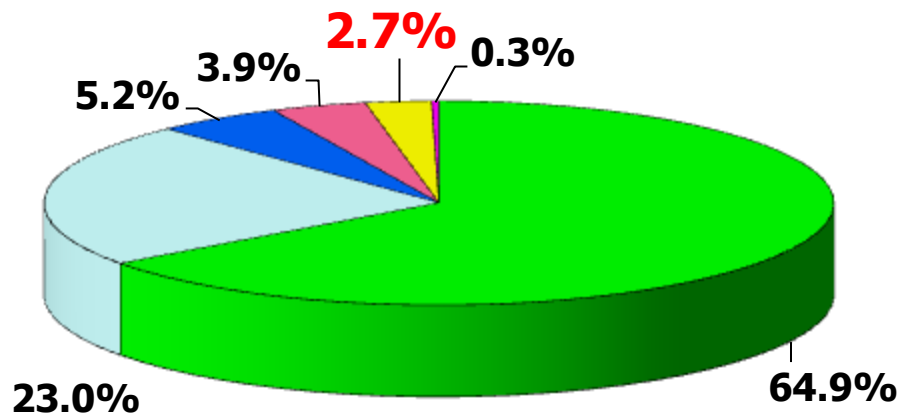


	(2002年)	(2012年)	(伸び率)	暦年 (1~12月)
◆ 全国ごま種子輸入量	153,019	158,820	103.8%	(単位:トン)
■ 全国ごま油生産量	43,586	44,836	102.9%	
▲ 当社ごま油生産量	24,407	23,403	95.9%	
✕ 全国可食油生産量	1,845,297	1,639,645	88.9%	

資料: 財務省通関統計
農林水産省作成
「油糧生産実績表」



わが国の油糧(可食油)生産量実績



2012年(1~12月)生産量
1,639,645トン

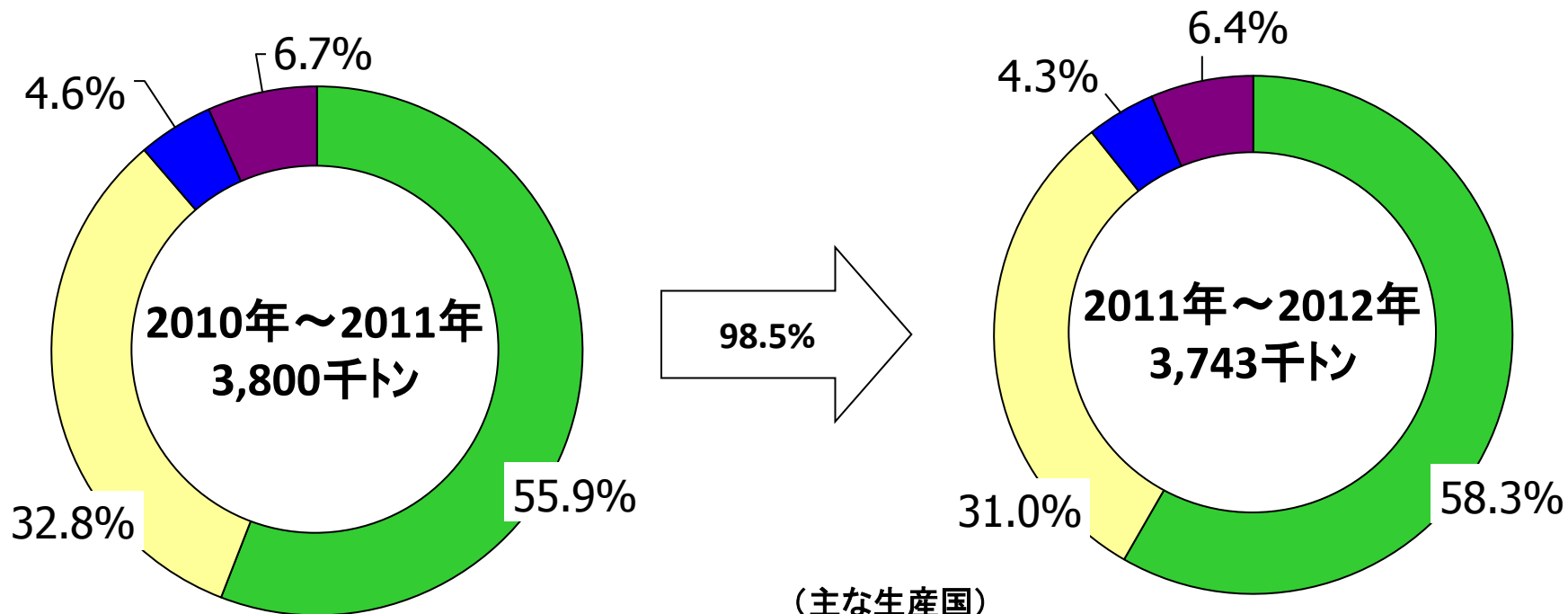
	2002年 (数量:トン)	2012年 (数量:トン)	増 減	
			(数量:トン)	(比 率)
■ 菜種	870,265	1,064,132	193,867	22.3 %
□ 大豆	757,827	376,484	△381,343	△50.3 %
■ とうもろこし	100,403	85,758	△14,645	△14.6 %
■ 米ぬか	59,340	63,853	4,513	7.6 %
■ ごま	43,586	44,836	1,250	2.9 %
■ その他	13,876	4,582	△9,294	△70.0 %
	1,845,297	1,639,645	△205,652	△11.1 %

資料: 農林水産省作成

「油糧生産実績表」



世界のごま種子生産量



(主な生産国)

単位: 千トン	2010-2011年	2011-2012年	増 減
インド	740	750	10
ミャンマー	580	620	40
中国	588	587	△1
スーダン	248	280	32
エチオピア	314	216	△98
ウガンダ	170	173	3
ナイジェリア	165	155	△10

資料: Oil World Annual 2012

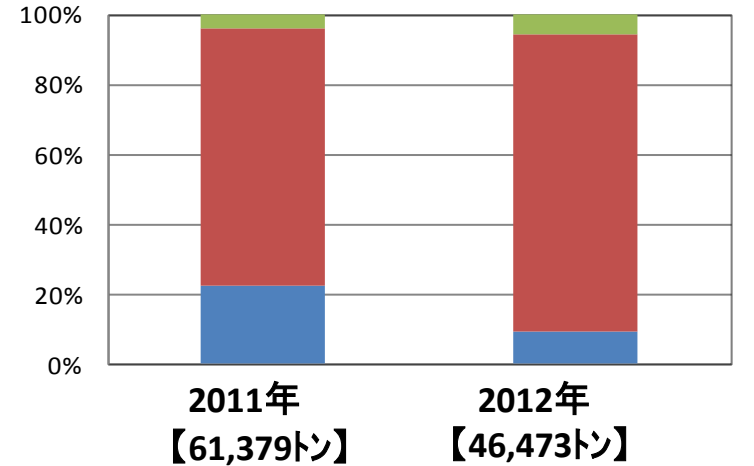
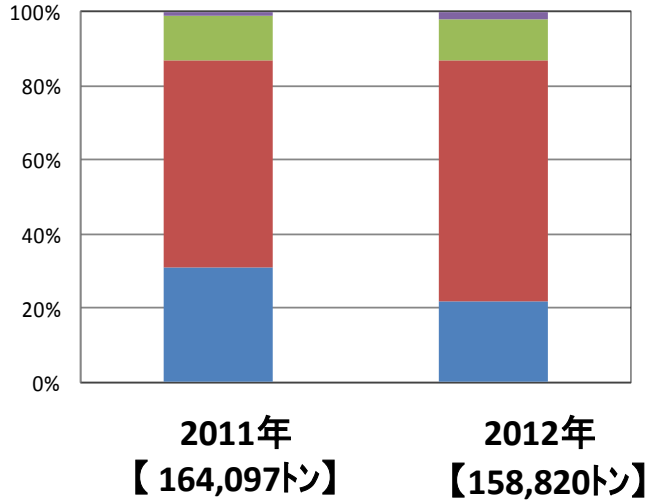
※ 生産量の数値は、9月から翌年8月までを1年として集計されたものです。



わが国のごま種子輸入実績

全国

当社



■ 中国

0.9%

2.0%

■ 他アジア・中東

12.3%

11.1%

(ミャンマー・トルコ他)

(ミャンマー・トルコ他)

■ アフリカ

55.8%

64.8%

(ナイジェリア・タンザニア他)

(ナイジェリア・タンザニア他)

■ 南北アメリカ

31.0%

22.1%

(パラグアイ・グアテマラ他)

(パラグアイ・グアテマラ他)

■ 中国

0%

0%

■ アジア

4.2%

5.7%

(ミャンマー・ベトナム)

(ミャンマー・ベトナム)

■ アフリカ

73.1%

84.9%

■ 南北アメリカ

22.7%

9.4%

(パラグアイ・アメリカ他)

(パラグアイ・アメリカ他)

資料: 財務省通関統計